

「イツヴェラヴァ老人ホーム機材整備計画」署名式



記念プレート前で並ぶ老人ホーム協力者達(右から)
マエダ夫妻(長年の事前家)、マツバラ市長夫妻、
西林総領事夫妻、サントス老人ホーム会長夫妻、
バルボーザ・イツヴェラヴァ・ライオンズクラブ
(老人ホーム維持団体)会長夫妻



供与された医療機材(エルゴメーター、
バランスボール等)を見る総領事夫妻

2007年7月13日、イツヴェラヴァ市のドミンゴス・リベイロ・ドス・サントス・ジュニア老人ホームにおいて草の根・人間の安全保障無償資金協力に対する供与式が行われ、西林万寿夫総領事、同団体のマウロ・セルジオ・フェッレイラ・ドス・サントス会長、マリオ・マツバラ・イツヴェラヴァ市長他関係者約100名が出席しました。

供与名式において、西林総領事は、過去5年間の努力によって、新施設を建設され、今回我が国の無償資金協力で同施設の整備費(6.3万米ドル)を寄付できたことは大変嬉しく思う。又、本協力を通じ、高齢者に快適な環境が整備されることを期待していると挨拶しました。

ライオンズクラブ会長のロベルト・イナシオ・バルボーザ氏より建設の経緯が説明され、必要な機材は日本政府より寄付されたことについて謝意が表されました。

又、マツバラ市長からは、「他民族に対する思いやりと友愛が豊かな日本国民は兄弟国であるように思われ、その国の代表者をイツヴェラヴァ市で歓迎できることは大変な名誉である。今回の供与式に参加できた事は大変大きな喜びである。このような機会に色々と学ぶことがあるが、一番大切なことは、サンパウロ州の奥地の町に対し連帯的な行為をした国民の偉大さである。日本政府に心からの感謝を伝えてほしい。」と感謝の意を表しました。

サントス会長からは恵まれない人々、特に高齢者に対して投資する人は少な

く、この援助に対する感謝の言葉が見つからないと謝意が表されました。

案件名： イツヴェラヴァ老人ホーム機材整備計画

被供与団体： ドミンゴス・リベイロ・ドス・サントス・ジュニア老人ホーム

プロジェクト実施地： サンパウロ州イツヴェラヴァ市

契約署名日： 2006年2月27日

供与限度額： 約 128,000 レアル

案件概要： 同団体は1964年築の施設において42名の高齢者を介護しているが、手狭である上、老朽化した建物は安全面での問題が発生していた。5年がかりで、寄付金を集め、新しい施設を建設したが、大型乾燥機、ベッド、食堂用家具、リハビリ用機材等が購入できないため、我が国の無償資金協力により、団体の新施設に備える家具や機材を購入した。

供与品目： リハビリ機材(エルゴメーター、上・下肢用ハバードタンク、バランスボール、赤外治療器等)、家具(ベッド、マットレス、戸棚、等)その他(冷蔵庫、ローラープレス機、30^{キロ}用乾燥機、ウォーターサーバー、等)



大型脱水機



供与されたベッドとマットレス